

山本 昌弘(やまもと まさひろ)先生のプロフィール

中馬医療財団 中馬病院 内科・漢方外来 担当。

内科認定医・元指導医； 内分泌代謝専門医・元指導医
未病医学専門医；東洋医学元専門医；日本医師会認定産業医

大阪大学医学部卒・同大学院・旧第三内科 終了。
(現呼吸器・免疫アレルギー内科)出身(現内分泌代謝内科所属)

千葉大学医学部内科学第二講座(現細胞治療学講座)元助教授
日本生命済生会付属日生病院 元院長/内科部長・元副理事長
医誠会病院元未病治療センター所長

日本内分泌学会功労評議員；和漢医薬学会名誉会員・元理事
日本未病システム学会評議員；日中医学協会評議員
ニューヨークアカデミーオブサイエンス元会員
韓国仁済大学元諮問教授；ハルビン医科大学客員教授
和漢医薬学会賞受賞。



専門科目は内科・臨床生化学・内分泌代謝学。

◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

漢方との出会いは、1968年秋、薬用人参・柴胡の基礎医学的、臨床的研究を始めた時です。

◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

内科・代謝内分泌専門ですが、実験・実証的には、高脂血症・糖尿病・肝疾患・不定愁訴・浮腫・アレルギー疾患・循環障害などへの効果です。

日常的には漢方全般、対象は全疾患です。時には難病にもすごい効果があります。

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

西洋医学を基本に、漢方・中医を応用。
疾患により異なりますが、割合は3:1から1:3まで。



◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

10年後、東西医学の結合が進み、検証的な成績も蓄積されるでしょう。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

自分で飲んで効果を実感しますが、
元来元気なので機会はあまりありません。

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

西洋医学、漢方医学、ともに正しく取り組み、極めること。



◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

西洋医学と漢方医学とは相互補完の関係にあり、
ともに学問であることが基本です。

◆その他、ご意見ご感想などありましたらお聞かせ下さい

自分の今あるは、患者さま、多くの恩師、同僚、
書物、研究室、そして家族のおかげです。



注意:先生へのインタビューは、当会が2004年8月に行った内容です。